

# 平成26年度事業計画

社会福祉法人宝安寺社会事業部  
法人本部

## I. 法人の経営理念

### 『仏教の慈悲の精神に基づく福祉の実践』

望月正道前理事長の、「傍観者ではいられなかった。ただそれだけ。一人の力は誠に小さく、たくさんの支援と協力があってこそ」という言葉がある。

全ての職員が、目の前に起きていることをしっかり受け止め、それぞれが主体的に考え、行動する人でありたい。

そして、当法人の福祉活動を通じて、地域の方々の不安が取り除かれ、一步一步幸せが増幅されるよう取り組んでいきたい。

## II. 基本方針

社会福祉法人として、今後もより充実した地域福祉の向上に取り組むため、人材の育成と定着化に最大の力を注ぎたい。

これからの少子化・高齢化と相まって、人口が増えないなか、よき人材の採用と育成を全組織の最重要課題として位置づける。

職員をよき社会人・よき市民に育てることは、当法人の園児・利用者とそのご家族へのサービスの質をあげるだけではなく、小田原を中心としたこの県西地区が、更に住みよく、暮らしやすい地域となるために不可欠の要素である。人づくりをもって地域社会に貢献したい。

### Ⅲ. 平成26年度の重点課題

当法人では、社会福祉法人としてのあり方と地域社会における当法人の存在意義を明確に認識するために、今、法人各施設の中長期ビジョン（2020年のあるべき姿）を策定しつつある。その過程において、下記項目を平成26年度の主要経営課題として、積極的に事業展開を図ることとする。

1. 人材育成の仕組みづくりによる園児・利用者及び家族へのサービス力と地域社会への貢献度の向上
2. 法人及び各事業所の中長期ビジョン(あるべき姿)の構築
3. 児童部門(小田原愛児園・乳児園・ほうあんふじ)間の連携強化
4. グループホーム事業(障害者の暮らしを支える)の持続可能的推進
5. 相談支援事業に関わる関係諸機関との連携の強化
6. 行政および地域社会との連携の強化

また、小田原市本町(国際通り)に取得した不動産を、当法人の新たな事業展開と地域福祉に活用するための準備委員会を設置する。

以上

## 事業計画総括表(法人本部)

大項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
人材の育成	1 法人共通研修の実施及び人事考課制度の整備	(1) ほうあん桜下村塾を継続的に開講する	池谷主任	半期毎、計2回の実施	担当事業所制の導入検討 幹部養成研修の充実 新規研修会のリサーチ 関連諸規程との整合性確保
		(2) 久田教授による研修会を継続的に実施する	大水経営改革担当部長	年間5回の実施	
		(3) 外部の幹部研修会等へ経営幹部等を積極的に派遣する	大水理事	年間4名の派遣	
		(4) 雇用形態の種類を整備し、非常勤職員の人事考課制度を導入する	大水理事	規程の理事会承認	
中長期ビジョンの構築	2 法人本部・全事業所の中長期ビジョンの整合性確認と統合化	(1) 児童部門の中長期ビジョン策定をサポートする	大水経営改革担当部長	上半期内の策定	財務データとの相互反映
		(2) 法人本部・全事業所の中長期ビジョンの整合性を確認し、統合版を作成する	大水理事	年度内の理事会承認	
連携の強化	3 法人内及び外部諸機関との連携の強化	(1) 児童部門間の連携を強化する	大水理事	昨年度対比で判定	ヒルトン連携含む
		(2) 障害者施設間の連携を強化する	大水経営改革担当部長	シトラスの予算達成度	
		(3) 相談支援事業に関わる関係諸機関との連携を強化する	大水経営改革担当部長	市障害者総合相談支援センターの円滑運営	
		(4) 行政及び地域社会との連携を強化する	大水経営改革担当部長	土地活用準備委員会の立上げと実行度	

# 小田原愛児園

責任者：椎野 あい子

## 実施事業

定員 2歳児以上300名  
(4月 292名受け入れ)

### 1 使命と中長期ビジョン

#### (使命)

全ての子ども達が心身ともに健やかに育ち、安全安心な環境を与えられ、保護者が子育てへの幸福感を得られるよう職員は資質向上を図り、地域社会の中での子育て支援を目指す。

#### (中長期ビジョン)

1. 子ども達の育ちを側面から支援できる環境整備
2. 基礎体力の向上、探究心、豊かな情緒の育み
3. 同年齢、異年齢の友だちとふれあう保育
4. 園と家庭とが一体となった保育
5. 小学校、地域、専門機関との連携

### 2 当期目標と方針

- ・保育内容研究と実践
- ・認定こども園についての情報収集と体制の検討
- ・人材育成・資質向上への取組み
- ・地域貢献と地域交流の具体化

### 3 重点テーマと取り組むべき課題

- ・養護と教育の融合と、安全で健やかな育みが与えられる保育の実践
- ・発達障がいのある子どもに対する早期発見と関係機関や保護者との連携
- ・被災地復興支援活動「思い出さくら基金」による地域貢献、地域交流

### 4 大型の設備投資の金額と予定次期及びその目的

- ・老朽化(40年経過)した太鼓橋の安全調査と衝撃防止ゴムチップ舗装工事  
投資金額140万円  
(平成26年度共同募金会申請予定(5月)・・・平成27年度の事業予定)
- ・厨房回転釜の床修繕工事  
投資金額50万円

### 5 数値指標

別紙「事業計画総括表」参照

事業計画総括表

項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
利用者 ニーズへの 対応	1 養護と教育	・基礎体力の向上を図る体操の強化(朝の体操・走る・跳ぶ等)	・体育係	・一日一回	
		・災害時に備えた訓練(火災、地震、津波等を想定した避難訓練)	・防災係	・月一回以上	
		・食育への取り組み(野菜作り、クッキング保育等)	・栄養士、担任	・半期毎に実績確認	
		・気になる子への早期発見と保護者支援、及び巡回相談や 専門機関との積極的な連携と対応	・全職員	・5回/年	
		・生活発表会や各施設訪問先でのミニ発表会経験	・担任	・5回/年	
地域貢献・ 地域交流	2 地域社会との連携 及び、子育て支援	・小中学校生の職場体験、高校生のボランティア受け入れ	・担任	・5回/年	
		・地域育児センター子育てオアシスの実施	・担当職員	・28回/年	
		・ゲストティーチャー受入れ(森のクラフト、コンサート等)	・担当職員	・4回/年	
		・被災地復興支援活動「思い出さくら基金」プロジェクト設立 (桜の木で作ったストラップの売上の一部を支援)	・園長、全職員	・設立の有無	
人材育成	3 人材育成と 資質向上	・認定こども園への情報収集と体制作り	・全職員	・半期毎に実績確認	
		・園内外の研修への積極的な参加と実践してきた保育内容 (基礎体力作りへの取り組み)等の実践報告会	・主幹主任等	・3回/年	

# 小田原乳児園

責任者：渡邊澄江

## 実施事業

保育事業 定員 0歳児22名・1歳児55名 計90名

### 1 使命と中期ビジョン

(使命)

1. 愛らしい表情で生き生きした目、元気な子を育てます。
2. すべての人に和顔愛語の心で接します。

(中長期テーマ)

1. 事故のない安全な保育
2. 職員の資質の向上に向けての研修、自主研修の計画及び実施
3. 全職員にとっての働きやすい職場環境づくり
4. 保護者とのよりよい関係作りと地域への貢献
5. 食育活動の充実

### 2 当期目標と方針

- ・園児の日々の安全確保
- ・保育の質の向上に努める
- ・地域への持続的貢献

### 3 重点テーマと取り組むべき課題

- ・園児一人ひとりが安全で健やかな園生活を送ることができるよう、保護者に対して全職員が十分な配慮をする。
- ・初めて乳児保育に携わる新任保育士の保育力を高めるための研修を実施する。
- ・家庭で育児をしている保護者を支援するために子育てオアシス等を持続的に実施する。

### 4 大型の設備投資の金額と予定次期及びその目的

外壁塗装工事	投資金額	90万円	9月～10月頃
エアコンの清掃	投資金額	60万円	5月頃
浄水器	投資金額	200万円	4月

### 5 数値指標

別紙「事業計画総括表」参照

## 事業計画総括表

項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
利用者ニーズへの対応	1、 ・園児の日々の安全と保護者支援	・園児の身体発達を促す運動(歩く・走る)を計画性をもって実施する。	担任	1回/1日 半期毎に確認	
		・朝の視診の徹底、保育士間の連携により健康面での異常を察知する。	全職員		
		・食物性アレルギー児への給食の提供時の安全チェック徹底。	調理・担任	事故0 半期毎に確認	
		・保護者とのコミュニケーションを密にし、園児の日々の様子を伝え、又保護者の声に耳を傾ける。	全職員		
・ひやりはっと等を見直し。事故を未然に防ぐ。	全職員	ひやり3/週			
地域貢献・地域交流	2、 ・家庭にいる保護者支援 ・地域防災訓練に参加交流	・子育てオアシスへの参加を呼びかけ、保育園のノウハウを活かし、親子でひと時を楽しんでもらう。	オアシス担当	2~4/月	
		・オアシスだよりを作成し、園内に掲示する。	オアシス担当	4/年	
		・一時預かり保育を活用してもらう。	一時保育担当	毎日	
		・地域防災訓練に参加し、地域の人との交流を図る。	園長 防災担当	2/年	
人材育成	3、 ・乳児保育に携わる新任保育士の保育力を高める。 ・職員が働きやすい環境作り。	・特に0歳児の発達・食事・あそびについての園内外研修に参加し、研修報告の提出。	主幹	4/年	
		・意見交換の場の設定。	全員	4/年	

# ほうあんのぞみ

責任者：上田 理

## 実施事業と定員

就労継続支援B型（31名） 就労移行支援（9名） 日中一時支援（4名）

## 1 使命と中期ビジョン

（使命）

利用者が働く喜びを感じ、家族が安心できるように、職員の人間性を向上させ、地域との共生を実現する。

（中期ビジョン）

1. 平均工賃2万円の達成
2. 障害者に対する地域理解の促進
3. 就労移行支援利用者の1年以内での一般就労率50%以上の達成

## 2 当期目標と方針

- ・利用者一人ひとりの満足度が高まるように、日課を充実させる
- ・利用者の将来を見据えて、短期入所事業を通じて生活面を支援する
- ・地域住民に、のぞみの活動や利用者をもっと知ってもらう

## 3 重点テーマと取り組むべき課題

- ・施設外就労、自主生産作業を充実させる
- ・短期入所事業を円滑に実施する
- ・のぞみの活動が地域住民の目に触れる機会を多く持つ
- ・権利擁護の推進

## 4 大型の設備投資の金額と予定時期及びその目的

とくになし

## 5 数値指標

別紙「事業計画総括表」参照



## 事業計画総括表

項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
利用者ニーズへの対応・サービス向上	1、施設外就労・自主生産作業を充実させる	・仕事内容や利用者本人の意思を尊重しつつ、適切に人員を配置し、施設外就労を行う。	池田課長	・施設外就労実施延べ人数 1700人/年  ・喫茶班利用者3名増、 製菓班利用者3名増	
		・作業工程を見直し、利用者の仕事を増やして訓練し、技術を習得してもらう。	喫茶・製菓担当		
利用者ニーズへの対応・サービス向上	2、短期入所事業を円滑に実施する	・短期入所について、利用希望の調査をし、月ごとに利用予定を立て、適切に職員を配置し、安全に配慮して実施する。	池田課長	・利用者延べ人数 270人/年 ・事故ゼロ件	
地域貢献・地域交流	3、のぞみの活動が地域住民の目に触れる機会を多く持つ	・近隣地域の清掃ボランティアを利用者と職員で行う。	遠藤	12回/年	
		・地域のイベントに出店する。	廣瀬主任	2回以上/年	
人材育成	4、権利擁護の推進	・本人活動である自治会活動を活性化させ、利用者の意思を事業運営に反映させる。	自治会担当	自治会年3回以上開催	
		・事業所内人権会議を開催し、権利擁護について話し合う機会を持つ。	人権担当	年4回の会議開催 (5月、8月、11月、2月)	
		・人権スローガンを掲げて職員に権利擁護への意識付けを行う。	上田所長	アンケート実施(年2回)	

# ほうあんふじ

責任者：山崎 美由樹

## 実施事業

児童発達支援事業 (50名) 放課後等デイサービス (15名)  
日中一時支援事業 (10名)  
保育所等訪問支援事業 相談支援事業

## 1 使命と中期ビジョン

(使命)

1. 正しい人生観のもと、最先端の技量の習得に努めていきます。
2. 園児・保護者・職員の人生の質の向上を実現します。
3. 地域社会の福祉に貢献します。

(中期ビジョン)

1. 専門職の資質の向上
2. 多機能型の事業所ごとの責任体制の確立
3. 指示系統の確立と組織化
4. 多職種集団によるチームアプローチの確立
5. 社会福祉への情熱と使命感のある人材育成

## 2 当期目標と方針

- ・利用園児の支援強化のための環境整備
- ・チームアプローチによる、個別支援計画の作成
- ・職員の資質向上のための研修・ケース会議の開催
- ・地域支援を行い、外部との連携を強化していく

## 3 重点テーマと取り組むべき課題

- ・中庭・ホール等、園児の療育支援の強化のための環境整備
- ・多職種による連携と個別支援計画の作成
- ・研修・ケース会の開催
- ・権利擁護の推進に向けた、知的障害のある児童を支援するための倫理綱領の実践

## 4 大型の設備投資の金額と予定時期及びその目的

- ・中庭及びその周辺整備 800万円程度
- ・ホール吊り具設置 120万円程度
- ・クライミングウォールの設置 340万円程度

## 5 数値指標

別紙「事業計画総括表」参照

## 事業計画総括表

項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
利用者ニーズへの対応	1利用園児の支援強化 ・環境整備	・職員との話し合い→業者との打ち合わせ ・効率の良い利用方法の検討	・園長	・上半期の工事完了	
	・多職種による連携と個別支援計画	・職種ごとの話し合い	・主任	・職種ごと(2回) クラス(3回)	
地域貢献・地域交流	2 相談支援	・一般相談の受け入れ・サービス利用計画の作成	・園長 ・相談支援員	・月5～7件	
	保育所等訪問	・保育所等訪問支援	・訪問員	・月5～7件	
	利用園児の受け入れ	・各地域からの園児の受け入れ	・園長	・月平均55～60名	
人材育成	3 療育支援の質の向上	・ケース会議	・研修担当者	・月12回	
		・研修の開催	・研修担当者	・年2回	
		・外部実習研修	・研修担当者	・一人1回以上	
		・事業間研修			

# ほうあんふじみのさと

責任者：加藤徳治

## 実施事業

生活介護事業（定員 35 名）      施設入所支援（定員 30 名）  
短期入所事業（定員 5 名）      日中一時事業（定員 3 名）

## 1 使命と中期ビジョン

（使命）

1. みんなに 24 時間 365 日安心を届けます。
2. 利用者さんが笑顔で自分らしくいられる支援をしていきます。
3. ふじみのさととは開かれた施設を目指しみんなの架け橋になります。

（中期ビジョン）

1. 地域移行への取り組み
2. 生活介護の通所者 10 名の独立部署での実施
3. 地域への施設開放と連携強化
4. 増築による短期入所枠 2 名増加による緊急時を含めた受入態勢強化
5. 利用者の日課充実と家族との連携による支援の質向上

## 2 当期目標と方針

- ・利用者ニーズの把握と対応
- ・地域への施設開放と連携強化の具体的な推進
- ・人材の定着と育成への積極的な取り組み

## 3 重点テーマと取り組むべき課題

- ・生活介護通所者の安定化と支援内容の充実
- ・短期入所者受入態勢強化
- ・多目的室、グラウンド、農園の地域への開放
- ・定期的な研修の実施

## 4 大型の設備投資の金額と予定時期及びその目的

- ・仕切り戸／環境整備 投資金額 180 万円 上期
- ・グラウンドへの外トイレ設置（補助金申請予定） 投資金額 200 万円 下期  
（補助金却下の場合全額自己資金で年度内設置）

## 5 数値指標

別紙「事業計画総括表」参照

## 事業計画総括表

項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
利用者 ニーズへの 対応	1 生活介護通所者の安定と支援内容の充実	通所者の独立部署での実施。祭日も含め週5日の定期活動日とする。職員4名(常勤男女各1名・非常勤男女各1名)を固定し統一支援を行う。	通所担当	出席率97%以上	男性職員の確保 祭日の職員確保 Mさんの生活リズム安定支援
地域貢献・ 地域交流	2 短期入所受入体制強化 多目的室、グラウンド 農園の地域への開放	緊急時受入用に増床分の内1床を確保する。	所長	緊急受入12回以上	内容の充実
		設備の開放により地域と交流を図る。 (芋掘り体験・カラオケ大会・バーベキュー大会)	地域交流担当	年4回	
人材育成	3 定期的な研修の実施	勉強会を毎月行う。	全員	12回以上	支援に結びついていない。
		2年目職員により自己啓発報告会を行う。	2年目職員	年6回	

# ほうあん第一しおん

責任者：近藤 秀樹

## 実施事業

多機能型事業所 就労移行支援事業（16名）就労継続支援B型事業（34名）  
生活介護事業（10名）放課後等デイサービス事業（10名）  
日中一時事業

## 1 使命と中期ビジョン

（使命）『全員が高い満足度で生きがいを感じるために！！』

1. 利用者に働く喜びを感じていただきます。  
～それぞれが責任をもって役割を果たすことにより喜びを感じてもらおう～
2. 職員は専門性を常に追求し、利用者が良い人生を送れるように支援します。  
～笑顔で安心できる生活を送るために～
3. 地域社会に情報発信し、貢献します。  
～利用者が地域社会で暮らしやすくなるために啓蒙活動、情報発信する～

（中期ビジョン）

1. 月の利用率125%を達成する
2. 放課後等デイサービスの利用目的を明確にし、毎日定員10名の利用を達成する
3. パン事業の拡大をはかる
4. 地域の方との交流を図り、地域に根ざした事業所を目指す

## 2 当期目標と方針

- ・利用者のニーズに合わせた事業移行及びサービスの提供及び新規契約者の拡大
- ・将来を見据え、短期入所を利用した生活訓練の提供
- ・利用者の工賃倍増を図る
- ・職員は支援力を高める
- ・地域を利用した活発的な活動を行う

## 3 重点テーマと取り組むべき課題

- ・施設外就労へ適切な利用者及び職員を配置する
- ・施設外作業の充実を図り、魅力ある作業を提供する
- ・パン作業における地産地消商品開発及び販売を行う
- ・短期入所の利用促進の強化を実施する
- ・職員研修の強化を図り、職員間の情報共有を行う
- ・風水害時避難場所としての準備を整え、訓練を行う
- ・権利擁護の推進に向けた、あおぞらプランの実践

## 4 大型の設備投資の金額と予定時期及びその目的

- ・送迎車両（放課後等デイサービス）／ 上半期購入 300万円程

## 5 数値指標

別紙「事業計画総括表」参照

## 事業計画総括表

大項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
利用者 ニーズへの 対応	1. 施設外作業の充実を図り、魅力ある作業を提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や相談支援事業所、学校等との連絡を密にする</li> <li>・適切な利用者及び職員を配置することで施設外就労加算を取得し、事業運営の安定を図る</li> <li>・地元農家さんと連携し、新たなパンの商品化を図る</li> </ul>	所長・主幹 作業担当	1日6人	
	2. パン作業における地産地消商品開発及び販売を行う		パン工房担当	新商品開発1品	
地域貢献・ 地域交流	3. 短期入所の利用促進の強化を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者一人に対し、2カ月に一度は短期入所を使い経験を積んでいただく (宿泊に対し抵抗のある利用者には、慣れた職員が時間を共にする)</li> </ul>	所長・主幹 シフト作成 短期宿直担当 ケース担当	1日4人宿泊	
	4. 風水害時避難場所としての準備を整え、訓練を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災担当と管理職が集まり、根府川地区の防災組織力を高める</li> <li>・風水害時や大地震に備え、防災訓練炊き出し訓練等を実施する</li> </ul>	所長・課長  主幹 防災担当	自治会の防災訓練に参加 炊き出しは 年:2回	
人材育成	5. 職員研修の強化を図り、職員間の情報共有を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は年に2回は外部研修に参加できるよう配置する</li> <li>・職場内研修を実施する</li> </ul>	所長・主幹  主任	常勤職員は年:2回  年:3回	
	6. 権利擁護(あおぞらプラン実践)	あおぞらプラン基本行動7つの徹底  社会的マナーを身につけるため、人権研修2回以上実施	KW&権利擁護委員会担当 KW&権利擁護委員会担当	全職員アンケート評価 全職員アンケート評価	

# ほうあん第二しおん

責任者：大水健晴

## 実施事業と定員

生活介護事業（40名） 短期入所事業（4名） 新短期入所事業（5名）  
共同生活援助（6名） 日中一時事業（2名）

## 1 使命と中期ビジョン

### （使命）

1. 利用者の皆様の尊厳を守り、可能性を信じ、あたたかい心で支援を行います。
2. 利用者の皆様の笑顔と自分らしさを実現し、共に成長することを目指します。
3. 互いの信頼関係をきずき、根府川から未来を照らします。

### （中期ビジョン）

1. 複数のケアホーム開設による利用者の暮らしの支援と通所環境の確保
2. 利用者の高齢化対応（退行対策やラストステージ支援など）
3. 医療ケアの充実と医療機関との連携強化
4. 重度・重心の暮らしを支える支援を行う職員育成と仕組みの構築
5. しおんのさと構想（地域ケア）に向けた地域交流と片浦地区の活性化への寄与

## 2 当期目標と方針

- ・利用者及び家族ニーズへの対応とサービス向上の実現  
（土曜日開所・ケアホーム開設・緊急時の連続短期入所）
- ・新たな視点での利用者個々の理解や可能性の追求による支援の質の向上  
（個別支援計画の内容の見直し）
- ・人材の育成（各課題に対してのグループ別研究&発表）

## 3 重点テーマと取り組むべき課題

- ・ほうあんホーム&ショートステイ「シトラス」の利用者の健康と安定運営
- ・個別支援計画の内容見直しによる利用者の個々の自分らしさの実現と可能性の追求
- ・ホーム開設を起点とした更なる地域との交流強化
- ・権利擁護の推進に向けた、あおぞらプランの実践

## 4 大型の設備投資の金額と予定時期及びその目的

- ・送迎車両（リフト付）／補助金申請予定 下期頃 400万円程度

## 5 数値指標

別紙「事業計画総括表」参照



## 事業計画総括表(ほうあん第二しおん)

大項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
利用者ニーズへの対応	1 ほうあんホーム「シトラス」の利用者の健康と安定運営	事故がなく安定した運営に向けた職員連携 利用者が健康で笑顔で暮すための連携(家族・他事業所・訪看等) ショートステイで第一&のぞみと連携し密な情報交換と共有の仕組みづくり		事故0 緊急帰宅10%以内 事故0	
			ホーム&利用者担当		
			ホーム&利用者担当		
			佐藤主幹		
地域交流	2 ケアホーム開設及びしおんのさと構想に向けた地域交流強化	自治会への加入と防災会議等参加し職員レベルで顔見知りを増やす 土曜日開所による交流推進。新たな日課や各種体験教室等 ボランティア数の増加 陶芸教室の定期開催		顔見5名以上 企画6回 年24名以上(新規) 30名以上参加	
			ホーム担当&防災担当		
			地域担当&佐藤主幹		
			ボランティア担当		
人材の育成	3 利用者支援の質の向上のための個別支援計画の見直し	個別支援計画の内容を本人ニーズに沿った見直し グループ別研究&実践報告(医療ケア・高齢化対応・摂食&嚥下・OT&PT) 研修参加者は、1名以上講師と名刺交換&提案を1つ以上行う 医療的ケア3号取得職員の増加		出席率3%UP(1.5名) 発表2回 月1個以上 2名以上	
			サビ管&担当者		
			各グループ及びチーム		
			全職員 看護師		
人材の育成	4 権利擁護(あおぞらプラン実践)	あおぞらプラン基本行動7つの徹底 社会的マナーを身につけるため、職員研修3回以上実施		全職員アンケート評価 全職員アンケート評価	
			KW&人権担当		
			KW&人権担当		

# ほうあん生活ホーム

責任者：上田 理

## 実施事業と定員

共同生活援助（4名）

### 1 使命と中期ビジョン

（使命）

利用者一人ひとりが豊かな社会生活を送れるように生活全般を支える

（中期ビジョン）

充実した生活支援を行う職員体制の確保、人材育成

### 2 当期目標と方針

- ・利用者のニーズに沿った支援の実施
- ・権利擁護の推進

### 3 重点テーマと取り組むべき課題

- ・個別支援計画の内容の見直し
- ・365日開所に向けての体制の検討、一部実施
- ・成年後見制度の活用

### 4 大型の設備投資の金額と予定時期及びその目的

特になし

### 5 数値指標

別紙「事業計画総括表」参照

## 事業計画総括表(ほうあん第二しおん)

大項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
利用者ニーズへの対応	1 ほうあんホーム「シトラス」の利用者の健康と安定運営	事故がなく安定した運営に向けた職員連携 利用者が健康で笑顔で暮すための連携(家族・他事業所・訪看等) ショートステイで第一&のぞみと連携し密な情報交換と共有の仕組みづくり		事故0 緊急帰宅10%以内 事故0	
			ホーム&利用者担当		
			ホーム&利用者担当		
			佐藤主任		
地域交流	2 ケアホーム開設及びしおんのさと構想に向けた地域交流強化	自治会への加入と防災会議等参加し職員レベルで顔見知りを増やす 土曜日開所による交流推進。新たな日課や各種体験教室等 ボランティア数の増加 陶芸教室の定期開催		顔見5名以上 企画6回 年24名以上(新規) 30名以上参加	
			ホーム担当&防災担当		
			地域担当&佐藤主任		
			ボランティア担当		
人材の育成	3 利用者支援の質の向上のための個別支援計画の見直し	個別支援計画の内容を本人ニーズに沿った見直し グループ別研究&実践報告(医療ケア・高齢化対応・摂食&嚥下・OT&PT) 研修参加者は、1名以上講師と名刺交換&提案を1つ以上行う 医療的ケア3号取得職員の増加		出席率3%UP(1.5名) 発表2回 月1個以上 2名以上	
			サビ管&担当者		
			各グループ及びチーム		
			全職員 看護師		
人材の育成	4 権利擁護(あおぞらプラン実践)	あおぞらプラン基本行動7つの徹底 社会的マナーを身につけるため、職員研修3回以上実施		全職員アンケート評価 全職員アンケート評価	
			KW&人権担当		
			KW&人権担当		

# こどもホッと相談カフェ

責任者:大水健晴

## 実施事業

- 1市3町委託相談支援事業(主に知的障害児)
- 指定特定相談支援事業(主に知的障害者)
- 指定障害児相談支援事業(主に知的障害児)
- 指定一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)

## 1 使命と中期ビジョン

(使命)

- ・相談者が安心して相談が受けられるように努めます。
- ・あなたらしくいきいきと生活できるように関係機関とのネットワークをいかし、応援します。
- ・相談者のプライバシーは尊重します。

(中期ビジョン)

- ・法人の考える相談支援事業所のあるべき姿を具現化する。

## 2 当期目標と方針

- ・小田原障害者総合相談支援センターへ職員を派遣し、運営に協力する。
- ・計画相談支援業務の効率化に努める。
- ・相談支援専門員の資質の向上を図る。

## 3 重点テーマと取り組むべき課題

(1) おだわら障害者総合相談支援センターについて

- ・地域の相談支援事業者の中核的な役割を担う。
- ・地域の各事業所との連携を強化し、地域福祉の向上に努める。

(2) 相談者のニーズに応えられるサービス等利用計画、モニタリングの作成と支援

- ・利用計画作成:成人 170件(新規 100件、継続 70件)  
児童 92件(新規 30件、継続 62件)
- ・モニタリング:成人 230件(新規 100件、継続 130件)  
児童 158件(新規 30件、継続 128件)
- ・職員の増員及び効率的な事務処理体制の実現

(3) 職員の面接・相談スキルの習得と向上

## 4 大型の設備投資の金額と予定時期及びその目的

- ・パソコン1台 10万円 4月
- ・複合機1台(おだわら障害者相談支援センター内設置) 200万円(4法人で分担) 4月

## 5 数値指標

別紙「事業計画総括表」参照

## 事業計画総括表

項目	重点テーマ	達成方法(行動計画)	担当	達成基準	備考(取組みの課題など)
利用者 ニーズへ の対応	1 おだわら障害者総合相 談支援センターについ て ①地域の相談支援事 業者の中核的な役割 の推進に努めます。 ②地域の各事業所との 連携を強化していきま す。	・独自事業(フリースペース等)を実施して、他の障害への 理解を深めます。	相談支援 専門員	・他の障害について 学び理解を深める ・協議会の再編と 活性化 ・出張福祉相談会 実施年18回 ・困難ケースへの 対応 5件	
		・地域自立支援協議会の円滑な運営への協力をして 自立支援協議会を活性化します。	相談員		
		・箱根町・真鶴町・湯河原町への出張福祉相談会を継続 して行います。			
		・地域の事業所と顔の見える関係作りを推進していきます。			
地域貢献・ 地域交流	2 相談者のニーズに応え られるサービス等利用 計画、モニタリングの作 成と支援に取組みま す。	法人全体での仕組みづくりや効率的な事務への取り組み を行います。	相談支援 専門員	計画件数 合計262件 モニタリング件数 合計388件	
人材育成	3 面接・相談スキルの習 得及び向上を実現しま す。	法人内や外部の研修会・勉強会に参加します。	相談支援 専門員	年3回以上参加	